

基山町まち・ひと・しごと創生推進会議

(要点筆記)

日 時：令和元年7月30日（火）10時00分～11時55分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：12人

森田昌嗣 会長、平瀬有人 副会長、内山正光 委員、
原憲一 委員、天本正弘 委員、松下達也 委員（代理：柳島一清）
岩永幸三 委員、山下敦史 委員、眞子義孝 委員、納富賢治 委員、
田中光一委員、酒井英良委員

欠席委員：2人

田口英信 委員、岡本哲男 委員

事務局：3人

総務企画課：熊本課長、熊本主幹、則本主任

関係部署：9人

産業振興課：寺崎課長、山本参事、定住促進課：亀山課長、
教育学習課：井上課長、まちづくり課：天本主査、こども課：今泉課長、
健康福祉課：中牟田課長、福祉課：吉田課長、住民課：毛利課長

傍聴者：0人

1 開会

2 町長あいさつ

3 委員の委嘱

4 会長及び副会長の選出

5 議事

(1) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び事業評価について

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（修正案）について

6 その他

事務局進行

1 開会

2 町長あいさつ

省略

3 委員の委嘱

町長から委嘱

4 会長及び副会長の選出

会長に森田昌嗣 委員、副会長に平瀬有人 委員を選出。

4 議事

(1) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況及び事業評価について

【基本目標】

① 基山町における新たな雇用を創出する

事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) 工場見学についてと、特産品活用プロジェクトにおいて榊などの特産品の取扱い店舗が 11 店舗との説明があったが、町民へのPRはどのように行っているか。
- ・(事務局等) 榊について、町内では基山PAで販売しており、基本的に花市場へ出荷している。そのため、一般の方が購入というのは町内ではない。PRについては、広報とHPで取組について随時報告を行っているが、ご指摘のとおり周知や地域の特産となるような努力を行っていきたい。工場見学については、現在のところ子供を含めたところで計画していたが、実際の事業としては厚労省の事業と絡めて実施しているため、就労希望者を対象に行っているため、参加人数が下がっている。PRについては、チラシの配布や広報等で周知を行っているが、より徹底的に周知を図ることで地元企業とのマッチングを増やしていきたいと考えている。
- ・(町長) 基山町は 17 の地区に分けられているが、榊はその中の第 6 区で集中的に栽培している。2～3 年前から第 1 区という別の地区でも生産が始まっている。消費者の目には、先程の回答にあったように、はなかなか広まっていないかもしれないが、生産者側からいくと新たな地区でも生産が始まっているように榊に対する認識は少しずつ強まっていくのではないかと考えている。工場見学については、工場毎に受け入れ態勢が異なっているため、ある企業では子供も含めて行う事業に協力したいという話もあっているため、これまでは雇用や町の

視点から工場見学を行っていたが、今後子育て支援や高齢者の集会に工場見学を組み込むなどの機会をうまく考えていければ、工場と基山町民の交流が深まるのではないかと考えている。

- ・(委員) 外国人の方がいる企業には200人位いると聞いたことがある。基山町に住んでもらったり、仕事に来てもらったりするために、もっと広報活動に力を入れれば、外国人の方に基山町に来てもらえたりするのではないかなと思う。また、先程の櫛については、櫛を購入する町民の方に聞いてみると基山PAで販売されていることを知らない方が多かったため、周知に力を入れられると産業振興につながると考えての質問だった。
- ・(委員) 2-3のUIJターンの関係で、高齢者や女性の雇用のマッチングはうまくいっているとの話だが、いかにUIJターン希望者に基山を拠点とした就職先を紹介していくかなどが重要だと思う。いかにターゲットを絞って、費用対効果を上げるかが難しいと思う。佐賀を出た先で家等を購入したり、子供が中学や高校に進学したりしてしまうと、動くのが難しくなってくるので、地元や地元の近くに戻って再就職したいという方に狙いを絞ったような知恵をだすことが必要だと思う。例えば、人脈を使った宣伝を行う事が基山には似合っているのかなと感じた。
- ・(委員) 1-1の関係で、以前の会議で基山PAの店舗の開店時間を1時間延長するときいたが、売り上げの伸びはそれが影響したと考えとよいか。
- ・(事務局等) 1時間延長は実験的に行い売り上げの伸びにも貢献していると考えているが、実際に伸びている理由は夏場等に特産品が充実したことが最も大きな理由と考えている。
- ・(委員) 今年度の開店時間の延長は考えていないのか。
- ・(事務局等) 夕方に時間を延長すれば売り上げが伸びることは分かったところだが、同時に開店時の従事時間も増えており、どちらをとるかという問題ではある。延長については現在検討中である。
- ・(委員) 2-1の企業誘致について、実績報告書の事業の課題・問題点に「企業を誘致できる土地が限られているため、対応できる案件が少ない。」とあり、そのアクションとして「県企業立地課と連携し、企業誘致を推進していく。」とあるが、具体的にどのように推進していくのか。
- ・(事務局等) 町内には工業団地等があるわけではないので、今後の大規模な開発については民間主導となっていくと思われる。現状の限られた残存地を活用で

きるような情報を細やかに把握し、案件ごとに提供していきたいと考えている。

- ・(町長)理想は、庁舎内で無料職業紹介所を行うならば2つの機能をより充実させておきたい。一つはきめ細やかな基山の情報を把握しておくこと。例えば、これまでの33件のマッチングの内、第1号は年齢が70歳以上の方だった。これから高齢化を迎える基山町において、70歳以上が増加していくことが予測されるが、70歳以上の人も含めた基山の細かい企業からのニーズとうまくマッチングしていければと思う。女性のパートも同じである。今は、それがうまくいっている状況である。それと併せて戦略的に行うためには、簡単なことではないが、佐賀県と連携して佐賀県内の企業の情報や、福岡県の筑紫野市、久留米市、春日市、大野城市や小郡市方面の企業情報を集めて、企業の方とパイプをつくりそこから得られる生きた情報も提供することで、Uターンや本来なら東京、大阪、名古屋等の首都圏に出る予定だった方が留まるような仕組みづくりをやっていかなければならない。難易度は非常に高いがこれらができるようになれば、庁舎内にある無料職業紹介所の価値は高くなると思われる。もう一つは、基山町人口のうち70歳前後の年代が一番多いが、その年代の方の子供たちが基山から流出し現在35~40歳くらいだと思う。先程の話もあったが、その方たちは家を建てたりして、呼び戻すことが難しい状態にあると思う。そこでその子供たち、70歳前後の方たちのお孫さんにあたる方たち、とくに娘さん方のお孫さんがターゲットと感じている。その方(孫)たちが、基山に住んで福岡方面の企業等に通ったり、基山に済まなくても近くに住んだりして、身近にすることで安心感が生まれ、一人暮らしの高齢者対策にもつながっていくと考えられる。難しい話だが、うまくつながればと思う。企業誘致については、本格的に佐賀県と組んで工業団地をつくる話がないことはない。団地をつくれれば基山には必ずくると思っている。現在、市街化調整区域に地区計画を作成する話が上がっている。市街化区域はもちろんだが、市街化調整区域に地区計画を作成することで、企業を誘致することが可能となる。今、色々なパターンで対応することが出来るようになっているので、企業誘致の情報があれば提供をお願いしたい。

【会長】

基本目標①の11事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

② 基山町を通過点から交流拠点へ 事務局から説明

—質問等—

- ・(委員) 5-2「町のPR活動プロジェクト」について、移住体験住宅の利用状況と

移住者の関係性はどうなっているか。

- ・(事務局等) 移住体験住宅については今年度で3年目の運用になるが、平成30年度については24件の利用実績がある。そのうち5組の方が実際に町内へ移住されている。移住体験住宅の利用者の多くは、関東圏、関西圏、特に九州外からの利用が今増えている状況。
- ・(委員) 4-3「観光案内の見える化プロジェクト」について、KPIがアクセス数150,000件とあるが実績が大きく離れている。理由としては、アクセスしてもらうきっかけが難しいことが要因か。
- ・(事務局等) 観光サイトのアクセス数は目標と比べて、あまり伸びていない一つの理由は、観光協会のHP、基山町のHP、FacebookをはじめとしたSNS等様々な方面から情報発信を行っており、今回の目標はあくまで「観光サイトのアクセス数」に特化しているためと考えられる。今後はいくつかランニングしているものの情報発信の整合を図っていかなければならない。観光サイトについてみれば、情報発信が少し鈍かったように感じている。
- ・(委員) 観光だけに絞ったサイトだとアクセス数の伸びが難しいと思うが、基山でしか取れない情報、基山町の生活と密着した情報を提供し日常的に閲覧するサイトと関連づけられればアクセス数を伸ばすことができると思う。
- ・(事務局等) ご意見ありがとうございます。
- ・(委員) 以前は基山町役場が観光協会を主体として運営されていたが、運営主体が商工会に移ってから町との関わりが少し薄らいだ気がする。サイトにアクセスしてもらえば、基山のことを知ってもらういい機会になる。基山町には寺社仏閣が多くあり、基山町HPからもとぶことが出来るようになるが、あるお寺が最近YouTubeに動画をあげてあり、御朱印ブームにのって今まで知らなかった方に知ってもらうような活動をしているところもある。そのような取り組みを活用した基山町のアピールや、観光客、人口の増加につなげられるような計画はないだろうか。
- ・(事務局等) 観光協会に委託している事業になるが、寺社仏閣や職人の方たちが連携した「おもてなし協議会」を立ち上げ、それぞれが行っていることを連携させて1つのパッケージとして売り出すことで、基山町にきていただけるきっかけづくりを行っているところ。
- ・(委員) テレビの力はすごい。先程、寺社仏閣の話がでたが町とタイアップしてマスコミの力を借りてPRできるとよいと思う。興味をもってもらうことが大事

である。

- ・(事務局等) ご指摘のとおりであり、できる範囲でのプレスリリースや記者への投げ込みは行っているところ。やはり、メディアに取り上げられると反響は大きいと実感している。今後の課題としては、佐賀方面のメディアにはとりあげてもらえることが多くなっているが、基山町という地域の特性上福岡方面のメディアも見られる方が多い。どちらにどこまで投げ込むかということ、事業やその性格によって考えていかなければならないと、最近感じている。
- ・(町長) 佐賀県内の他の自治体に比べれば、メディアへの露出は決して低くないと思っているため、このペースで頑張っていきたい。佐賀だけでなく、福岡方面へのメディアへの露出も頑張っていきたい。
- ・(委員) 私は佐賀市民であるが、基山町のメディアの露出度は高いと感じている。
- ・(委員) 基山町に行ったことがある、で終わらずリピーターが増える仕組みづくりが必要だと思う。年に何回かきたくなるようなイベントをしかけて、リピーターが生まれるようにしてほしい。
- ・(委員) 基山町には人を呼び込むための観光資源はたくさんあり、通過点から交流拠点になりえると個人的には感じている。町としても、そのような観光資源になりえるところと連携を強めていってほしい。
- ・(町長) 神社仏閣も観光に力を入れてきている。地方創生交付金を活用して、神社仏閣の関係者を含めた協議会を立ち上げたことがきっかけとなっただけではない。基山町では他にも、職人の会が立ち上がったり観光農園がオープンしたりした。これらにうまく連携していけば基山の魅力発信につながっていくと思う

【会長】

基本目標②の7事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

③ 子どもを育てたくなるまち基山をめざして 事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) 基山町では小学校に入る前までは手厚く、子育てしやすい環境であると感じているが、小学校に入った後の学童保育に関しては個人的には充実していないように感じる。学童保育の内容や支援員のスキルは他地区よりも劣ってい

る気がする。学童保育を今よりも充実させて、より子育てしやすい環境を整えていってほしい。

- ・(事務局等) 正直、学童保育の支援員等については厳しい中毎年運営している。支援員についてはなかなか新しい方の確保もできず同様のメンバーで運営しているため、何らかの支援を行いたいと考えた。就学前の4歳児に一度検診を実施しているが、その段階で多様な支援が必要であることに気づくことができる。平成28、29年度から社会福祉士と臨床心理士が巡回を行い、相談をしながら運営できる環境を整えた。また、実践的な対応が行えるようにするため、今年度の夏休み前に若楠療育園に業務委託を行い、対応について支援員に指導をいただき、学童保育内の対応を手厚くし始めたところである。
- ・(委員) 学童保育におられる、支援員と支援員ではない方がいらっしゃるが、支援員ではない方についての資格面はどのようなになっているか。
- ・(事務局等) 支援員になるためには、教員免許やある程度の経験年数を義務付けてから、支援員研修を受ける形になる。今回の業務委託の内容には、個別に講習会を行いスキルアップが図るようにしているため、支援員も支援員ではない補助員の方も含めて全体的な底上げをしていく。
- ・(委員) 補助員の方々も子供たちと直接向き合った仕事をされている。その方たちのスキルアップを図ってほしい。例えば、役場も含めてどこの職場も人事異動を行うので、学童保育でも人事異動を行いスキルアップできるようにするのはいかがか。
- ・(事務局等) 現在、ひまわり教室とコスモス教室があり、その中でも複数に教室が分かれているので、各教室に回れるようにしたいと思っているが、臨時職員で働かれる方はできるだけ近い職場でというのが現状である。ご指摘のように、活性化を図らなければならないということで、今年度は異動できる職員について、入れ替わりして勤務してもらえるように取組み始めたところである。
- ・(委員) 是非、人事異動を含めたスキルアップを行ってほしい。それが結果として子育てしやすいまちづくりにつながると思う。

【会長】

基本目標③の8事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

④ 安心と安全をベースに新しい協働のまちづくりを実現する
事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) 空き家バンクの登録数KPIが累計30件だが、空き家じたいはもっとある。
- ・(事務局等) 現在、空き家の基山町全体の数は、区長さんに協力いただき調査した結果、今年度初めに164件あった。昨年が162件でおおよそのそのあたりで推移している。そのうち、アンケート調査を全件に行い「活用してもよい」という方が20件～30件程上がってくるため、その方々に対して空き家バンクへの登録を促したり、民間の不動産業者を介して活用していただいたりしている。その結果昨年度実績が、登録数が13件となっている。平成30年度途中から不動産の有資格者が採用となったので、その職員を中心に特に空き家の所有者に対して、きめ細やかな対応を行い、実際に件数も増えているので、目標の30件は達成できる見込みである。
- ・(委員) 隣が空き家だったが、明かりがあるのとないのでは安心感が全然違うので、是非活用を行ってほしい。

【会長】

基本目標④の7事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

⑤ 自然と歴史・文化・スポーツを活かしたまちづくり
事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) 基山町ではジュニアバレーと少年野球が非常に盛んな時期があり、他市町村との交流試合を行っていたが、今は行っていないのか。
- ・(事務局等) ジュニアバレーに関しては春と秋に、男女それぞれ大規模な大会を行っている。総合体育館と、基山小学校体育館、若基小学校体育館を使用して開催している。春の大会は約50チーム程参加しており、2日間にわたり行われている。少年野球に関しては、今年度については宮崎県えびの市から4チームきてもらい交流試合を行った。
- ・(委員) 歴史的文化財で、園部城、宮浦城、立花城等をもっと活用できれば、観光として少しでも立ち寄れる場所となる気がする。スポーツもその材料になる。

これらが、地域おこしの材料の一つになるのではないかという期待もある。

【会長】

基本目標⑤の7事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

⑥ 高齢者・障がい者（児）にやさしいユニバーサルなまちづくり
事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) 全国的にも単身高齢者が大きな問題となり、特に女性の単身高齢者がおおきな問題となっている。地域で継承すべき行事等の後継者の育成をおこなってほしい。そこに単身者が加われれば、対策にもなっていくと考える。
- ・(事務局等) 高齢者の対策として、社会福祉協議会や民生委員さんと協力して見守りネットワーク事業を行っている。安否確認等定期的に面会することとしている。引きこもり状態になってしまうことが望ましくないため、交流の場に出てきてもらうことが大事であり、その場にでてきてもらい周囲の人と交流してもらいたいと思う。そのような場として、憩いの家を活用していきたい。
- ・(委員) 上峰町が高齢者の見守りサービスとして郵便局と連携したと聞いた。基山町でもそのような計画はあるのか。
- ・(事務局等) 基山町においても郵便局と見守りネットワークの連携は行っている。上峰町が行われているサービスの詳細を確認しておきたい。
- ・(町長) やはり公民館が大切で、充実させていきたい。今、「通いの場」が広がってきているので、今後も広めていきたい。人が集まるということが大事。そのようなところに、職員がいて相談事が聞ければ理想的かなと思っている。
- ・(委員) 基山町は配食サービスをおこなっており、手渡す時に確認を行ったりしている。
- ・(委員) 集落の公民館もある。歩いて行けるところに、人が集まり、会話をするというものを月1回程、行政主導で昔はやられていた。今は人も少なくなってきた開催は難しいようである。しかしながら、地域の方がいつでも寄り合える場所として残したいため、地域からお金を捻出し、活用を続けている。

【会長】

基本目標⑥の4事業は、総合戦略のKPI達成に有効であると評価してよいか？

⇒承認

(2) 基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略（修正案）について

事務局から説明

－質問等－

- ・（委員）「9-1 安心して暮らせるまちづくり」の「犯罪件数減：50件（累計）」KPIを「犯罪件数減：前年度比5%減」に変更となっているが数値等に問題ないか。
- ・（事務局等）問題ない。標記を担当課と協議して、変更させていただいた。

【会長】

事務局からの説明に対し、異議がある方はいらっしゃいますか。

⇒異議なし

(3) その他

- ・（委員）キャンプ場の活用はあるのか。
- ・（事務局等）キャンプ場に関しては、老朽化が進んでいるため、今後そのような対応をするのであれば、予算を含めて工夫が必要であると考えている。キャンプ場単体では観光客の呼び込みはできないので、今後、基肄城整備を進めていく中で一緒に考えていければと思う。
- ・（委員）最初は利用者も多く賑わっていた。現在はBBQの利用をいただいているところ。ロッジなどを進めていくためには近辺に宿泊施設があればと思う。どのような施設にすれば、利用者が増えるかを検討していきたい。

～11時55分閉会～